

14.レサのスイミング・プール



アルヴァロ・シザの初期の代表作のひとつとして知られるレサのスイミング・プールは、彼の生誕地であるマトジーニョスに造られた屋外プールである。

現状の岩場を利用してつくられたその建築は、自然の景観に溶け込むような設計になっている。

プールは、施設として機能するうえで最低限必要な人工物としてのコンクリート擁壁の加工が施されている。自然の景観と一体化することと、製造コストを抑えるという面がある。更衣室とシャワールームのある建物は、海岸に沿って走るマーシナル通りと平行に建てられているが、道路からは道路側が高くなっているため、その高低差を利用してその屋根部分が道路の高さになるようになっており、目立たず周辺の景観を壊すことなく存在している。内部は解放されており、バーから海を臨むと砂浜とプール、海という自然に溶け込む風景となっており、50年という年月が経っていることを忘れさせるほど溶け込んでいた。

竹内 聡洋